



一酸化炭素中毒に注意し、 こまめに「換気」を しましょう!!

年末年始は、ご自宅で過ごすことが多くなり

ストーブなど暖房器具を使用する頻度が高くなる時期です。

「火災の危険」も増えますが、「一酸化炭素中毒」にも気を付けましょう。

一酸化炭素中毒の特徴

無味・無臭・無刺激な有毒ガスのため自覚症状がなく、気が付いたときには中毒症状になり、一酸化炭素の濃度によっては、頭痛、めまい、吐き気、意識を失う場合があります、重症化すると死にいたることがあります。

一酸化炭素中毒の発生原因

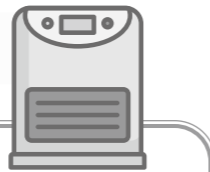
締め切った部屋で暖房器具を長時間使用、部屋の酸素が不足して暖房器具の不完全燃焼がおこることで、一酸化炭素濃度が上昇します。

また、車庫内で換気せず暖機運転やエンジン式発電機等を使用したことでも排気ガスにより同様のことがおこります。



予防策

- 暖房器具やガス湯沸器等を使用している部屋の窓を少なくとも1時間に1回開けて換気をするようにしましょう。
- 台所では換気扇を使用しましょう。
- 暖房器具やコンロの不具合がないか確認しましょう。



ごみ減量 大作戦



作戦 その1

生ごみの水切り

ごみの減量化を進めるには、家庭から出るごみの約半分を占める「生ごみ」の減量が必要です。「生ごみ」の約80%が水分と言われているので、減量には、「水切りの徹底」が有効です。生ごみの水切りを徹底すると

- ごみの減量化
 - 悪臭やカビの発生抑制
 - 環境負荷の低減
- などの効果があります。

「生ごみ」の水切りポイント!

ポイント①「濡らさない!」

野菜の皮をむくときは、洗う前にむきましょう。むいた皮は、シンク内の三角コーナーや排水溝内の水切りカゴなどに捨てると水分を吸ってしまうので、乾いたまま捨てましょう。

ポイント②「乾かす!」

お茶殻やティーバックは、水気を絞り乾かしてから捨てましょう。

ポイント③「絞る!」

ごみは、水切りをしてから捨てましょう。～水切りの方法～

- ①水切りネットを使用して水切りする
- ②ゴム手袋を使用して直接水切りする
- ③ペットボトルの注ぎ口を利用して押し付けながら水切りする
- ④すぐに捨てずに一晩おいてから捨てる
- ⑤市販の水切りグッズなどを利用する

正誤
可燃ごみ

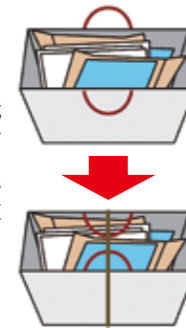


漬物の粕・ぬか



可燃ごみです。町で収集された生ごみは肥料化されています。漬け物の粕やぬかには、多量の塩分が含まれており、肥料化施設へ悪影響があるため、生ごみには出せません。なお、排出する際に水分が多いと、ごみ収集車を汚す原因となりますので、水分を切って、新聞紙などに包んでから、町指定ごみ袋に入れてください。

紙ひもで縛る



可燃ごみの減量化を目的として、可燃ごみに混入しやすい「雑がみ」の分別収集を促進するため、「雑がみ分別収集促進用紙袋」と「雑がみ分別表」を作成しました。紙袋は、「雑がみ」の便利な出し方を袋に印刷して紹介しています。トイレレットペーパーの芯、小さな厚紙の箱、切ってしまったコピー用紙など、紙ひもで縛って出すと隙間からおちてしまうようなものでも、紙袋を使うと雑がみとして出しやすくなります。また、分別表は、雑がみとして収集できる紙製を一覧化しました。

○配布日
2月10日(木)
(区を通して 各戸配布します。)

○配布数
1戸あたり：
●雑がみ分別収集
促進用紙袋 3袋
●雑がみ分別表 1枚
ぜひご活用ください。また、ご家庭にある紙袋、大きい封筒などもご利用いただき、可燃ごみの減量にご理解ご協力をお願いします。

雑がみ分別収集促進用紙袋を配布します